

令和2年8月17日

福岡県教育委員会
教育長 城戸 秀明 様

福岡教育連盟

執行委員長 山内 省二



新型コロナウィルス感染症対策に関する要望

今般の新型コロナウィルス感染症に関して、安全な教育環境の保持に向けた施策の推進にご尽力いただき、心より敬意を表します。

私たち福岡教育連盟は「すべての子どもをわが子として」のスローガンのもと、教育公務員としての使命と職責を自覚し、県民・保護者の負託に応えるべく、活動を展開しております。

さて、学校現場は、文部科学省発出の通知やガイドライン、Q&A、及び、県教育委員会の通知に沿って、新型コロナウィルス感染症の防止に細心の注意を払いながら教育活動を展開しているところですが、感染症対策を徹底することにより、教師の業務負担、身体的負担は増大する傾向にあります。また、新型コロナウィルス感染症の影響を受けて、教員免許更新講習に関する問題等、新たな課題も浮き彫りになりつつあります。

つきましては、教職員の不安を取り除くとともに、児童生徒が安全で充実した学校生活を送ることができますよう、下記要望の実現に向けてご高配を賜りたくお願い申し上げます。

なお、ご多用の折に大変恐縮ですが、令和2年9月4日（金）までに文書にてご回答いただきますようお願い申し上げます。

記

1 授業時における教師の身体的負担、子どもたちへの合理的配慮の観点から、ポータブル拡声器の導入を検討されたい。

学校現場では5月の学校再開以降、新型コロナウィルス感染症対策として、教師はマスクを着用して授業を実施しているが、長時間のマスク着用は酸欠状態をもたらすことも指摘されており、教師は大きな身体的負担を抱えている。また、マスクを着用すると教師の声が不明瞭となって教室内に行き渡りにくくなり、子どもたちへの合理的配慮の観点からも課題がある。

これらの課題を克服するため、全国各地の学校でポータブル拡声器を導入する動きが見られる。たとえば、大分県では大分商業高等学校において学校の取組としてポータブル拡声器が導入されている。また、市町村教育委員会の取組としてポータブル拡声器を導入している例もある（岐阜県垂井町教育委員会など）。

このポータブル拡声器について、本県においても、まずは試験的に導入し、モニタリングを実施されたい。その上で使用効果が認められれば導入を進められたい。



▲ポータブル拡声器

2 学校内での感染症対策をサポートするため、県立学校にスクール・サポート・スタッフを配置されたい。

5月の学校再開以降、学校内での新型コロナウィルス感染症発生・拡大を防ぐため、各学校において、放課後に校内のアルコール消毒を行う等の対策を継続しており、教師の業務が肥大化している。教師は子どもたちの安全を守るため、使命感をもって感染症対策に当たっているが、対策が長期化する中、とくに高等学校では6月に部活動が再開されたことから教師の負担が増大している。学校内での感染症対策をサポートするため、至急、県立学校にスクール・サポート・スタッフの配置を進められたい。

3 新型コロナウィルス感染症の影響を踏まえた教員免許更新制に係る手続き等の留意事項について、改めて対象者に分かりやすく周知されたい。

教員免許更新制に関しては、新型コロナウィルス感染症の影響を受け、各大学で免許状更新講習の開講中止や延期が生じており、かつ、各学校において夏季休業が短縮されたことから、免許状更新講習対象者が講習を受講しにくい状況が生じている。

6月上旬に文部科学省及び県教育委員会より、新型コロナウィルス感染症の影響を踏まえた教員免許更新制に係る手続き等の留意事項について通知が発出され、注意喚起がなされているが、学校現場の免許状更新講習対象者にはその内容が十分に周知されておらず、不安と混乱が広がっている。

免許状更新講習対象者に対しては、再度、通知内容を分かりやすく周知するとともに、現時点で更新講習の受講のめどが立たない対象者に対しては、速やかに免許状更新講習の修了確認期限の延期等に係る申請を行うよう通知されたい。